

第●学年 We Can!● Unit● ●●●●
 第●時 / 全●時間

・日本語 MS ゴチ 10pt。
 ・右詰め。

【●●●市立●●●小学校：●● ●●●】

所属及び名前は左詰め。

【本時のねらい】
 ●●●●

・日本語 MS 明朝 10pt。英語 TNR10pt。
 ・単元指導計画の単位時間のねらいと一致させる。

過程

学習活動

授業の実際及び本時の見届け

帯活動

1 ●●●●●を行う。

学習活動
 ・日本語 MS 明朝 9pt, 英語 TNR9pt。

課題の把握

伝え合う1

過程
 ・学習活動の名称を記述する。
 ・日本語 MS 明朝 9pt, 英語 TNR9pt。
 例)「帯活動」

本時の課題
 ・基本的に日本語で記述する。
 ・センタリング。
 ・日本語 MS 明朝 9pt, 英語 TNR9pt。
 ・枠線はテキストボックス二重線(2pt)。

【1 Small Talk の実際】

T: ●●●●●
 S1: ●●●●●
 T: ●●●●●
 Ss: ●●●●●

【授業の実際】
 ・「【●●●の実際】」の「●●●」は「過程」に用いられる言葉、もしくは端的に表した活動名とする。
 ・日本語 MS 明朝 9pt, 英語 TNR9pt。
 ・その活動を始める際、また、生徒に指示をする際に実際にどのような言葉(英語)を用いているかを記述する。ただし、45分間全ての英語を記述するのではなく、児童との自然な対話や指示及びその確認の際の英語があればよい。
 ・教師は「T」、生徒は「S1」「S2」、生徒が複数の場合は「Ss」を用いる。

【3 伝え合う1の実際】

本時の見届け

本時の見届け
 ・本時のねらいに到達したかどうかの見届けの仕方を具体的に述べる。
 ・タイトルを「【本時の見届け】」とする。
 ・「・(中点)」を付けて述べて始める。
 ・日本語 MS 明朝 9pt, 英語 TNR9pt。

書きまとめ

4 ●●●●●を行う。

本時の終末で到達させたい姿
 ・対話形式やスピーチ形式で記述する。
 ・対話形式であれば「S1」「S2」を用いる。
 ・日本語 MS 明朝 9pt, 英語 TNR9pt。
 ・枠線はテキストボックス点線(0.5pt)。

【本時の終末で到達させたい姿】

S1: ●●●●●
 S2: ●●●●●

評価規準
 ・従来の「【外国語●●●の能力 ●●●こと ●●●な発話】」は記載しない。
 ・評価の場を「(●●●)」で記述する。例) (ワークシート)
 ・日本語 MS 明朝 9pt, 英語 TNR9pt。
 ・枠線はテキストボックス直線(0.5pt)

児童の振り返り
 ・日本語による児童の振り返りを位置付ける。本時を通してできたこと、分かったこと、また、次時に生かしていきたいことを述べる。
 ・日本語 MS 明朝 9pt, 英語 TNR9pt。
 ・枠線はテキストボックス直線(0.5pt)。

評価規準

●●●●●することができる。

(●●●／●●●●●●●●)